

Kami Town Council News No.84

かみ議会 だより

令和7年12月定例会号

今月のトピック

● 第3次香美町総合計画を可決！
町民生活支援の予算を可決！

香美町議会の情報はこちら！



本年も町政の発展のため尽力します

町民の皆様には、日頃から議会運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

紙上をもって皆様にご挨拶申し上げます。

※あいさつは議席順です。



よしかわ やすはる
吉川 康治 議長

日頃より町民の皆さまには、議会運営並びに議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
本年におきましても、町の将来を見据えた建設的な議論を重ね、住みよい地域の実現に向けて、議会としての役割を着実に果たして参ります。
町民の皆さまの声を丁寧に受け止めながら、より開かれた議会運営に努めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。
皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。



ひがしがき のりお
東垣 典雄 副議長

年頭にあたり心を新たにすることは、「志は気の帥なり」孟子の言葉で、人は志がなければ、何も成し遂げることはできないとの教えです。
志こそが意気軒昂の土台です。
「みんなで幸せを実感できるまちづくり」の志をもって取り組んでまいります。



むらた ゆきのぶ
村田 行信 議員

本年は、第3次総合計画がいよいよ実行フェーズに入る重要な一年です。計画が掲げられるだけで終わるのではなく、実際の行政運営の中でどのように使われ、変化が生まれているのか。私は、そうした点を町民の見える形で共有する立場として、町政に向き合っていきたいと考えています。



やまね のりあき
山根 典明 議員

今年の干支は丙午（ひのえうま）で「パワフルな年になる」とされています。
●一人は皆のために、皆は一人のために
●小さな声を届けます
をモットーに魅力あふれるまちづくりの為、香住区・村岡区・小代区を全力で走り続けて参ります。



なかむら たかし
中村 崇志 議員

新しい年も、長靴と現場感覚を忘れず、香美町の暮らしの中に答えを探します。子育てや観光・一次産業の声を力に変え、議論は熱く丁寧、判断は冷静かつ正確に。町民と心から笑い、悩み、前に進む一年にします。さらに、議会改革にも挑みます。
【共感と実行 躍動する香美町に】



わかさか えいさく
脇坂 英作 議員

これまでの30年は新しい挑戦を重ねてきた年月でしたが、昨年はその数年分を凝縮したような、大きな挑戦の一年となりました。議員としての活動にも、やりがいや楽しさを実感しています。今年はさらに視野を広げ、成長を重ねながら町の未来に向き合う一年にしていきたいと思います。



やまもと けんじ
山本 賢司 議員

社会保障削減・国民への軍拡増税にアクセルの高市政治に対して、住民の福祉向上を旨とする地方自治体の役割は大きく異なります。
地方自治の主人公である住民のいのちと暮らしを守る町政の進展に向けて、力を尽くす決意を新たにしています。



たにくち しんじ
谷口 眞治 議員

新しい年を迎えて、改めて「町民が主人公」の立場で、「町民のいのちとくらし第一」を貫く決意を申し上げます。
「若者が輝き、子どもが元気に育ち、高齢者・障がい者にやさしい、産業が元気な」香美町をめざし、全力を尽くします。この一年、よろしくお願い申し上げます。



もりうら しげる
森浦 繁 議員

昨年は、物価高騰の一年でした。町民さんが安心して暮らせる町をめざします。子育て支援・医療、福祉の充実・観光産業の発展などに努めます。益々高齢化と人口減少は、進みます。町民皆様の意見を聞き住みやすい香美町を目指します。



た の きみひろ
田野 公大 議員

今年の干支である午年は活気が生まれやすく、挑戦や変化が起こりやすい年ともいわれます。新たな目標である香美町第3次総合計画で謳う、まちの将来像「みんながいきいき、笑顔あふれるまち 香美町」を目指して、新たな議会づくりと新たなまちづくりに精進してまいります。



いとう あつき
伊藤 敦紀 議員

昨年は、議員活動一年目として大変多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
議員としての活動を通じて新たに増えてきた課題や、改めて実感した町への想いを胸に、本年も「未来のまちの当事者」として、よりよい香美町の実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。



みづか おさむ
見塚 修 議員

○みんなが健康で、しあわせのために!!
○快適で、安心・安全のために!!
○地域社会の活力ある発展のために!!
「みんながいきいき、笑顔あふれる香美町」を目指し、懸命に努力します。



にしたに ひさし
西谷 尚 議員

人生は長く生きようと思っても思い通りにはいかない。しかし、やめようと思えばその場でやめられる。長く生きるにはと尋ねると、今楽しい事はありますか？あるなら長く生きられます。と笑顔で答えてくれた。人生は楽しい事があれば続けられるんだ。本年も皆様と共に頑張ります。



まつおか だいご
松岡 大悟 議員

町民のみなさんから多くの意見や課題をいただき、町政に反映できるよう活動を重ねています。暮らし・仕事・地域コミュニティ・防災・教育・子育て等、すべてがまちをつくる根幹です。今の課題と未来への政策を分けることなく持続可能で幸せなまちを目指し今後も活動して参ります。



ふじい まさひこ
藤井 昌彦 議員

今年午年です。午「うま」は太陽が最も高く上る時刻を表し、活力、情熱、行動力、の象徴です。私は颯爽に滑走する4歳馬のように、前を向いてしっかりと生き生きと子どもたちの成長と輝かしい未来を切り開くため、全力疾走で邁進することを「初心」の誓いと致します。



にしかわ せいいち
西川 誠一 議員

『善政は民の財を得、善教は民の心を得。』成果を上げるような善政よりも、善教の方が人民の支持を得る。善政を敷けば、人民は畏れ敬うだろうが、善教を広めれば人民を愛するようになる。
という孟子の言葉です。
皆様が幸多き年であることをご祈念いたします。



第3次香美町 総合計画を 可決!

12月18日の本会議において、第3次香美町総合計画について、計画の方向性を評価する意見がある一方で、数値目標がないことの方なりにくさや町民への説明の在り方を中心に多くの質疑が行われました。審議の論点や質疑、答弁は以下のとおりです。

第3次香美町総合計画を 賛成多数で可決

質疑

問 この先、10年間の総合計画であるが、町民の意見を網羅しながら、実現できる自信があるか伺う。

答 町長の意見は網羅しながら、年度単位で実現のために精一杯取り組まれます。そうしなければならぬものです。

討論

反対討論 山本 賢司議員
様々な質疑がなされたが目標設定が曖昧、第2次総合計画よりも後退しているため、認められない。

賛成討論 西谷 尚議員
本町が抱える様々な課題に向き合い、町の将来像を示した「最上位計画」であるため、評価する。



【総合計画とは】

町の将来の方向を示す最も重要な計画です。およそ10年間を見通して、町民のみならずのくらしや仕事、自然やまちづくりについて、「何を大切に、何に取り組むか」をまとめています。

町の予算や事業は、この計画をもとに進められます。町民の皆様にはぜひ確認して頂きたい計画です。

【2度の議論の要約】

(第3次香美町総合計画審議・採決の全体像)

第3次香美町総合計画は、10年間を見通し、事業の成果を毎年確認しながら、必要に応じて柔軟に見直していく考え方で策定されました。

一方で、第2次香美町総合計画と比べ、数値目標を示さずに「方向性」で表す指標が増えたことから、計画のつながりや進み具合が分かりにくいとの課題も挙げられています。

論点

目標設定が分かりにくい。

質疑

数値目標が減り、進捗や成果が分かりにくいのでは。
前期計画との連続性が見えにくいのでは。

答弁

年度ごとの数値把握と検証(PDCA)を実施する。

分野別に年次KPIや5年後に目標を補強する案を検討する。

審議会にて検証プロセスを設計し、必要に応じて目標値を見直す。

観光

観光入込客数は現況108万3千人で、第2次計画の165万人目標に比べ後退した印象があるが、総合戦略では130万人の早期回復を目標に設定。季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携、人材育成、観光DXやインバウンド対応を進める方針が示された。一方、施策ごとの効果を定量的に把握することは困難であり、数値設計の強化が課題とされた。

観光

観光入込客数は現況108万3千人で、第2次計画の165万人目標に比べ後退した印象があるが、総合戦略では130万人の早期回復を目標に設定。季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携、人材育成、観光DXやインバウンド対応を進める方針が示された。一方、施策ごとの効果を定量的に把握することは困難であり、数値設計の強化が課題とされた。

観光

観光入込客数は現況108万3千人で、第2次計画の165万人目標に比べ後退した印象があるが、総合戦略では130万人の早期回復を目標に設定。季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携、人材育成、観光DXやインバウンド対応を進める方針が示された。一方、施策ごとの効果を定量的に把握することは困難であり、数値設計の強化が課題とされた。

観光

観光入込客数は現況108万3千人で、第2次計画の165万人目標に比べ後退した印象があるが、総合戦略では130万人の早期回復を目標に設定。季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携、人材育成、観光DXやインバウンド対応を進める方針が示された。一方、施策ごとの効果を定量的に把握することは困難であり、数値設計の強化が課題とされた。

観光

観光入込客数は現況108万3千人で、第2次計画の165万人目標に比べ後退した印象があるが、総合戦略では130万人の早期回復を目標に設定。季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携、人材育成、観光DXやインバウンド対応を進める方針が示された。一方、施策ごとの効果を定量的に把握することは困難であり、数値設計の強化が課題とされた。

答弁

総合戦略において入込客数130万人への回復を明示している。

季節変動の是正、三区・麒麟のまち連携を推進する。

観光DX・インバウンド対応を強化する。
施策ごとの効果を今後詳細にお伝えする。

農業・畜産・水産

農業では経営耕地面積477haの維持を目標とし、農地集積・機械導入支援、新規就農者育成により担い手確保を図る。畜産では肥育牛飼養頭数を新指標として追加し、繁殖主体の地域特性を踏まえつつ、一貫経営拡大と但馬牛・神戸ビーフ生産の広がりを見据えた。

水産では、売上金額の集計が行われていない現状から数値目標は設定せず、「漁獲金額・漁獲量・加工場数」を維持方向で示した。第2次総合計画

水産では、売上金額の集計が行われていない現状から数値目標は設定せず、「漁獲金額・漁獲量・加工場数」を維持方向で示した。第2次総合計画

の漁獲金額50億円を目指す目標から、42・5億円を維持する目標にしたことによる後退感が論点となった。



論点
農地維持(477ha)の実現性。

質疑
・人口減少・高齢化の中で維持が可能か不透明では。

答弁

・農地の集積・集約を推進する。
・中心的担い手への機械導入支援により、経営規模の維持を図る。
・新規就農者の確保・育成をする。(就農相談、梨の学校)

・中規模層に認定農業者取得を促し、支援対象を拡大する。

論点
畜産指標(肥育牛)の妥当性。

質疑
・繁殖主体の地域特性との整合性は。

答弁

・一貫経営に取り組む若手の増加を踏まえて指標化している。
・但馬牛・神戸ビーフの生産拡大を見据え、今後、現況把握方法と年次目標を整理する。

論点

水産分野で金額指標が使えない。

質疑

・売上金額の集計がなく、評価が困難では。
・目標後退に見えるが。

答弁

・当面は漁獲量・漁獲金額・加工場数を維持方

向で管理する。
・データ制約を踏まえ、無理な金額目標は設定しない。

消費者問題・廃棄物

消費者トラブル相談件数の指標を「増加」方向と設定し、相談を積極的に受け止めることが未然防止につながるの考え方が示された。ごみ政策では、一人一日当たり排出量の削減と資源化率の向上を指標とし、一般廃棄物処理計画との整合性を持たせている。

論点

消費者トラブル相談件数が「増加」指標。

質疑

・トラブルを増やす目標だと誤解されやすいのでは。

答弁

・積極的に相談していただけでなくトラブルの未然防止につながる。

・相談件数増し抑止効果と位置づけている。
・受理体制と広報の具体化を進める。

福祉

新指標「幸福度の平均点」は、生活圏域ニーズ調査における自己評価による健康状態(1〜10点)を代理指標とするもので、主観的健康感を通じた幸福度把握を目的としている。

論点

幸福度という指標が分かりにくい。

質疑

・定義が曖昧に見えるのでは。

答弁

・生活圏域ニーズ調査を代理指標とし活用している。
・定期調査により経年変化を把握していく。

水道インフラ

水道有収率(81・4%)

向上に向け、人工衛星を用いた漏水調査を段階的に実施し、全国平均水準を目指す方針が示された。一方、「水道料金の適正化」という表現については、値上げにつながるのではないかと強い懸念が示され、住民生活への影響を踏まえた慎重な対応と説明責任が求められた。

論点

水道有収率と水道料金の懸念。

質疑

・有収率向上の実効性は。
・「料金の適正化」値上げ」と受け取られるのでは。

答弁

・人工衛星による漏水調査を継続実施する。
・全国平均水準を目標に有収率を改善する。
・料金改定は直ちに実施せず、必要な場合も手続きを踏み住民説明を行う。

質疑

・有収率改善を含めた総合的経営改善を優先する。

総合計画策定に向けての町民参加と透明性

計画策定へ向けて住民アンケート(回収率39・7%)やパブリックコメント(9名28件)は実施されたが、周知不足・参加の少なさが課題。計画成立後は、要旨や代表的な意見、検証結果を町広報・HPで公表し、町民参加の拡充策を検討する方針が示された。

論点

住民参加・情報発信の弱さ。

質疑

・パブリックコメント・アンケート参加が少なかったのでは。
・周知がHP中心で偏っていたのでは。

答弁

・町広報・HPで継続的に公開していた。
・周知手法(紙説明会等)

の改善を検討する。
 ・議員意見と町民意見の
 取扱いの在り方を検討
 する。

まとめ

今回の総合計画に関する質疑・答弁では、「今後検討」「補強」「毎年見直し」といった表現に象徴されるように、運用段階での調整を前提とした対応が中心となっていました。現時点で数値目標や制度内容を直ちに固定するのではなく、PDCAサイクルによる柔軟な運用を重視する姿勢が示されています。

一方で、具体的な数値目標や期限については明確に示されておらず、詳細は今後の補足説明や運用段階に委ねられている状況です。

【議会について】
 具体的な数値や期限については、今後の運用の中で明らかにしていく必要があり、議会としても引き続き確認していきます。

報告

12月定例会において委任専決処分をしたものの報告がされました。

【委任専決処分をしたものの報告】

- 報告内容：森区集会所整備工事の請負変更契約の締結
- 契約相手：株本・西岡特別共同企業体

《契約内容の変更点》

	契約日	契約額	完成工期	変更内容
当初	令和7年6月24日	169,950,000円	令和8年3月13日	—
今回	令和7年10月1日	175,474,200円 (※5,524,200円増額)	令和8年3月13日	・土工事・埋戻し内容変更 ・杭工事・基礎杭・数量変更

※委任先決とは…議会在町長に預けた権限によって決定されたものです。

補正予算

12月定例会において、人事院勧告への対応などを盛り込んだ各会計の補正予算を、すべて原案どおり可決しました。

◆一般会計補正予算 (第5号)

ています。

質疑

問 県単独千ばつ応急対策支援事業補助金について、対象となった地域はどこか。

答 農林水産課 本年度の少雨に伴う応急対応として、町内の8地区から申請を受け、ポンプ等の購入に対して補助を行いました。実施場所は、ほぼ小代区であり、一部に香住区の地域も含まれています。

問 起業・創業支援事業補助金の増額について、この補助金が適用される業種と件数を伺う。

答 観光商工課 すでに2件の支援を行っています。新たに3件の申請が見込まれており、内装工事や美容業、その他サービス業が対象となつ

討論

反対討論 山本 賢司 議員
 人事院勧告について、町営の香住病院では実施されている一方、八鹿病院組合が運営する病院では実施されておらず、対応に差が生じている。

また、人事院勧告の実施に合わせ、議員や特別職の期末手当の増額が含まれているが、慣行による対応を続けるべきではない。これらの理由から、本補正予算には賛成できない。

賛成多数で可決

◆国民健康保険事業

特別会計補正予算 (第3号)

全員賛成で可決

◆後期高齢者医療保険事業

特別会計補正予算 (第1号)

全員賛成で可決

◆介護保険事業

特別会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

◆公立香住病院事業

企業会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

◆水道事業

企業会計補正予算 (第3号)

全員賛成で可決

◆下水道事業

企業会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決



条例改正

12月定例会において提案された議案はすべて原案どおり可決しました。

◆香美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

賛成多数で可決

質疑

問 ① 現行の一時預かり保育との違いと、併用して利用できるか。

② 利用料金の設定は。

答 ① 違いは保護者の就労要件で併用して利用できます。

② 利用料金の設定は国から詳細が示されています。

討論

反対討論 山本 賢司議員

利用料金がまだ設定されておらず、施設の基準が子どもの安全、育ちをないがしろにし、保育士に負担を強いるものであり、認めることができない。

賛成多数で可決

◆香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

質疑

◆香美町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

質疑

問 従事する職員として町長が行う研修を修了したものの“とは。

答 ① 子どもの教育課 保育士の補助員として、資格のある人が指導したものです。

討論

反対討論 山本 賢司議員

職員の配置基準、保育士以外でも研修を受けたら配置基準に入れる、子どもの保育の質、安全性が担保できない、子どもを安心して預けられない。

賛成多数で可決

討論

反対討論 山本 賢司議員

国の人事院勧告に準拠して期末手当を0.05ヶ月引き上げることについて、職員は妥当だと思いが、議員、特別職に支払うには法的根拠がない。

◆香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

賛成多数で可決

◆香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

全員賛成で可決

◆香美町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成で可決

◆香美町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例

全員賛成で可決

◆香美町立幼稚園条例の一部を改正する条例

全員賛成で可決

◆香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例（設備及び運営の基準）

賛成多数で可決

質疑

問 事業の問い合わせがあるか。

答 ① 子どもの教育課 問い合わせはありません。

討論

反対討論 山本 賢司議員

保育の質の低下が懸念される。

全員賛成で可決

◆香美町立社会体育施設条例の一部を改正する条例（柴山小学校体育館を追加）

全員賛成で可決

◆香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（乳幼児の健康診断について）

香美町過疎地域持続的発展計画を全員賛成で可決

質疑

問 学校等給食費無償化事業について、次年度の小学校の給食費について伺う。

答 ① 教育総務課 約 3980 万円です。
(計算方法 給食単価 310 円 × 日数 × 児童数)



全員賛成で可決

追加議案

町民生活支援の 予算を可決

町民1人当たり2万円の商品券の配布、
また児童1人当たり2万円の応援手当の
支給について可決されました。

一般会計補正予算 (第6号)

物価高騰対策応援券

配布事業

事業の目的

物価高騰対策として、
町内事業所で利用可能な
商品券を配布し、活用し
ていただくことで、町民
の生活を支援する。また、
商品券を町内で利用いた
だくことにより、町内経
済を循環させ事業者の経
営安定を図る。

町民1人当たり2万円
の商品券を配布。

質疑

問 町民1人当たりの商
品券が今回2万円となっ
ているが、この2万円と
した理由について問う。

答 町長 財政課長とも
財政状況を勘案しながら、

討論

賛成討論

谷口 眞治議員

本補正予算は、町民1
人当たり2万円の商品券
配布と、高校生年代まで
の子どもへの支援を柱と
するものであり、長期化
する物価高の中で、町民
の暮らしを守るために強
く求められていた対策で
ある。また、地域経済へ
の波及効果も大きく、町
内事業者の支援につなが
る点でも高く評価できる。
今後物価高の影響が続
くことを踏まえ、来年度

以降においても継続的な
物価対策を講じるとも
に、町民負担が増すよう
な税や公共料金の引き上
げは行わないよう求め、
本議案に賛成する。

全員賛成で可決

物価高対応子育て応援 手当支給事業

1. 物価高対応子育て応 援手当支給事業費

対象児童
1800人×2万円＝
3600万円

2. 物価高対応子育て 応援手当事務費

郵便料、公金取扱手数
料など41万円

全員賛成で可決



請負契約

地域活性センター整備工事の 請負契約を締結することについて

地域活性センターは、小代物産館の老朽化に伴い、既存施設を解体
し、同じ場所に交流促進を目的とした新たな施設として建て替えを行
うものです。

契約の目的

地域活性センター整備
工事

契約の方法

制限付一般競争入札

契約の金額

1億4190万円

契約の相手方

株式会社大一興業

質疑

問 小代物産館の中に
あった県民交流広場は、
今後どうなるのか。

答 小代地域局 県民交流
広場については、県と協
議を行い、現在の形での
設置を終了することにす
いて了承を得ています。

そのうえで、県民交流
広場の利用団体から、引
き続き交流の場を設けて
ほしいとの要望があった
ことから、会議室を整備
しています。

問 冬季における高齢者 利用経路（スロープ）の 安全性や、出入口付近の 屋根からの落雪対策は。

答 小代地域局 スロープ
はほぼ平坦な構造として
おり、積雪時には職員が
除雪を行います。

また、落雪対策として
屋根に雪止めを設置し、
安全確保を図ります。

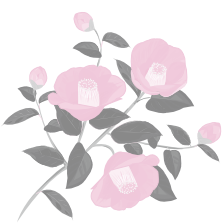
しています。

問 会議室の出入口は1
か所となっているが、出
入口付近で火災が発生し
た場合、高齢者や障害者
にとって安心・安全な避
難経路が確保されている
のか。

答 小代地域局 消防法上
の基準は満たしており、
許可も得ていることから
法令上の問題はありませ
んが、避難時の安全性向
上のため、窓の位置や仕
様を見直し、避難しやす
くする方法について検討
します。

全員賛成で可決

職員には建物の管理だ
けでなく、地域交流の促
進を目的として、イベン
トなどの仕掛けづくりを
考えてもらうことも想定



この度、JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書を議員全員で提出・可決し、国に提出しました。

意見書第2号

JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

JR各社が担う全国的な鉄道ネットワークは、国民に対するユニバーサルサービスとしての役割を果たすものであり、各社の経営状況に左右されることなく、全国で公平かつ安定的に確保されるべき極めて重要な交通インフラである。

しかしながら、近年の人口減少や少子高齢化、地方の過疎化など社会情勢の変化により、特に利用の少ないローカル線において、維持と持続可能性の両立が大きな課題となっている。このため国においては、令和5年に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、鉄道再構築の議論を行うための新たな枠組みが整備されたところである。

ただし鉄道のあり方は、採算性のみで判断されるべきものではなく、地方創生や国土の均衡ある発展、広域交通ネットワークの維持といった観点から総合的に検討される必要がある。

兵庫県内のローカル線は、地域住民の生活を支える「日常の足」として重要であり、とりわけ美方郡香美町における山陰本線は、将来を担う多くの学生の通学手段として不可欠な存在である。また、観光地・香美町を訪れる国内外の観光客にとっても、地域の玄関口としての役割を果たしており、鉄道の廃止や減便は地域活力の低下に直結することが懸念される。さらに、再構築議論を通じて、鉄道事業者から沿線自治体への負担転嫁が進むことで、地方の財政負担が増大し、地域間格差が一層広がるおそれもある。

あわせて、本町に所在する香住駅を含む山陰本線の一部区間では、いまだICOCA等のIC乗車券に対応していない現状があり、地域住民や観光客から早期導入を求める声が強くと寄せられている。移動の利便性確保や地域間の格差解消、さらには利用促進の観点からも、国による支援と積極的な関与は不可欠である。

地方創生を実現し、災害に強い鉄道ネットワークを将来世代に継承していくことは国の責務であり、鉄道のあり方を自治体や鉄道事業者に委ねるのではなく、国が主体的かつ責任を持って取り組むべき課題である。

ついては、JRローカル線の維持に向け、国による積極的な関与と必要な支援措置について、下記の事項に関し特段の対応を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 国民に対しユニバーサルサービスとして提供すべき社会基盤である鉄道ネットワークのあるべき姿を明確に示すこと。その上で、利用が少なくとも国土の均衡ある発展に不可欠な路線については、JR各社の経営状況に関わらず、国の責務として維持すること。
- 2 JRローカル線について、安易な減便を行わないよう指導するとともに、ICOCA等のIC乗車券対応の促進を含むキャッシュレス化の推進、駅設備の改良など、利用者利便の向上に向けた取り組みを支援すること。さらに、これらの取組を通じて利用促進や地方創生が進むよう、国による財政的・技術的支援制度を創設すること。
- 3 経営効率化や災害等を契機として、鉄道事業者側の一方的な事情により安易に存廃や再構築の議論が進むことのないよう、沿線自治体の意向を十分に尊重しつつ制度を運用することを、国の責任においてJR各社に対し厳格に指導すること。

議案の審議結果 ※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	村田 行信	山根 典明	中村 崇志	脇坂 英作	山本 賢司	谷口 眞治	森浦 繁	田野 公大	伊藤 敦紀	見塚 修	西谷 尚	松岡 大悟	東垣 典雄	藤井 昌彦	西川 誠一	吉川 康治	
93	第3次香美町総合計画を策定することについて					×	×											—
98	香美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めることについて					×	×	×										—
99	香美町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を定めることについて					×	×	×										—
100	香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて					×	×	×										—
101	香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて					×	×	×										—
106	香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例を定めることについて					×	×	×										—
109	令和7年度香美町一般会計補正予算（第3号）					×	×	×										—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。

請負契約

●山田体育館・旧山田子育て 子育て支援センター解体撤去工事

- ・契約の方法：制限付一般競争入札
- ・契約の金額：88,341,000 円
- ・契約の相手方：有限会社 北村工務店
(代表取締役 北村秀二)

質 疑

問 山田体育館は指定避難所になっているが？

答 **村岡地域局** 地元の同意を受けたうえでの解体撤去工事です。

●じんかい塵芥収集車の購入契約

- ・契約の方法：指名競争入札
- ・契約の金額：11,290,038 円
- ・契約の相手方：有限会社 タムラモータース
(代表取締役 田村和也)



山田体育館解体前 ※2025年12月24日撮影

損害賠償

医療事故の損害賠償の額を決定

- ・事故発生日月日：令和7年10月16日
- ・事故発生場所：川会歯科診療所
- ・相手方：香美町内男性

- ・損害賠償額：42,670 円
- ・事故の概要：川会歯科診療所において歯科の診療の際、誤って患者の口腔内に充填物を落下させ患者が誤飲した。

町政を問う!

一般質問

\\ その他こんな質問もしました //

質問議員	質問項目
東垣 典雄	獣害対策について問う。
見塚 修	いのちと暮らしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて(Part3) (いのちと暮らしを守る) 令和8年度予算編成に臨む各施策について問う。
藤井 昌彦	物価高騰対策について
村田 行信	デジタル田園都市国家構想の記載と、行政実務(紙ベース)との整合性について 町長が示された未来像と、第三次総合計画の整合性・活用方針について
中村 崇志	不法投棄の現状把握・対策について問う。 香住区小学校一次・二次再編に伴う、[体験的な「ふるさと教育」の推進]への影響について問う。
山本 賢司	第3次町総合計画は何も変えない。町長の決意表明か。

質問議員	質問項目
山本 賢司	町過疎地域持続的発展計画は、財源がないからできないとにならないか。 “介護の社会化”から“介護の家庭化”では現役世代も大変になる!
山根 典明	防災無線の再検討 健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について
脇坂 英作	地域農業の未来を支える農地・資産の見える化について
森浦 繁	クマの出没・被害対策について問う。 町民・観光客の交通利便の向上と観光誘客について問う。 海外への修学旅行実現の取り組みと旅費高騰対策について問う。
谷口 眞治	「非核3原則」見直しの検討について問う。 子育て支援のさらなる拡充について問う。 香住区小学校等第2次再編について問う。



スマート農業ドローンによる薬剤散布

町政を問う!

一般質問



ひがしがきのり お 東垣 典雄 議員

2025年農林業センサスで自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」は前回2020年調査と比べ全国で25.1%減少

基幹的農業従事者27%減少、農地の荒廃が進まないよう取り組みます



このこと。本町の現状は。町長 本町の「基幹的農業従事者」は2020年531人から2025年389人へと27%減少しています。農地の集約は経営耕地面積2020年の481haから420haの13%の減少にとどまっています。「基幹的農業従事者」は

減少し耕作面積の減少が少ないのは担い手への農地の集約がすすんだ結果です。耕作条件のいい農地の集約はすすみますが中山間の農地は担い手がなく稲作をしていない集落があるのが現状である。中山間地の農地についても農地中間管理機構(農

地バンク)の活用での集約と「中山間地域直接支払」など制度の活用を。町長 その地域の農地の活用について今の制度の仕組みのなかでは集落ごとの意欲が大きく影響します。集落での話し合いによる制度の活用で農地の荒廃がすすまないよう取り組みます。

12月定例会での一般質問は13人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。)

一般質問



世界へ飛躍!! 但馬牛



業者も作業員も頑張っています

町長は、「美方の伝統的但馬牛飼育」が評価され、10月31日、イタリアローマで世界農業遺産認定授与式に参加された。



ふじい まさひこ
藤井 昌彦 議員

世界に誇る但馬牛システムをどう生かす 和牛の素牛をさらに情報発信します



私も一町民としてうれしくこの地域に住んでいることが誇らしいと強く思う。そこで

①認定書を受けた率直な感想は。

②世界的評価を受けた但馬牛の魅力はどう生かすか。日本の黒毛和牛種の99・9%の発祥地の首長としての考え方を伺う。

③今後について

町長 ①世界的に評価され、大変喜ばしいです。このシステムを次世代に継承し、観光の振興や地域活性化に繋げ但馬地域、兵庫県内へと波及していくことを期待します。

②但馬牛は神戸牛など全国ブランド牛の素牛ということを国の内外に向

け、魅力を発信します。

③ホームページの開設やSNSでPRを行い、世界農業遺産の認知度向上に努めます。

人口減や高齢化等から大雪への対応は、毎年厳さを増している。よって大雪から暮らしを守る施策について伺う。



みづか おさむ
見塚 修 議員

大雪から暮らしを守る施策は!! 道路除雪等体制を整えています!!



①道路交通の確保策と除雪作業員の確保策。

②J Rの定時運行の確保

③その他インフラの安定確保

以上伺う。

町長 ①道路の除雪につきましても、国県との連絡体制、町の直営及び車道歩道を含めて33者への委託や三区への小型除雪機

導入も完了し、冬期間の交通安全確保を図るべく体制を整えています。除雪作業員確保対策は、資格取得等の費用の一部補助事業も行っています。

②J Rの定時運行確保は住民生活や観光客の移動手段として重要で、気象予測でのラッセル車の運行体制を整えています。

運休時の代替輸送手段の確保は実現に至っていません。

③水道も停電対策として非常用受電設備の整備を進め、電気事業者とも有事の際の連絡体制を密にすることとしています。

町政を問う!



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」



香美町ホームページ(総合計画QR)

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハードルが下がってきている。



まつおか だいご 松岡 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき 今後一生懸命になって普及に努めていきます

単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加コミュニケーションづくりという側面もあると言われ、全国の自治体でも導入されている。今後香美町でも導入を考えているか。

町長 デジタル地域通貨の住民ニーズは明確に把握していませんが、物

価高騰応援券など、地域限定で利用できる商品券をデジタル化することで、支給するまでのスピード化や事業所のみなさんの換金作業簡略化が図れるなど、事務の軽減化、更には紙に比べ発送や印刷費など管理費用削減にもつながるなど様々な活用が考えられます。次の段階として



むらた ゆきのぶ 村田 行信 議員

第3次総合計画に沿って動き出す町政の行方は イメージどおりに進捗させる努力は惜しまない

第3次総合計画について、町長自身の目指すものが網羅されている形で示された。
第2次総合計画で示さ

れた目標は達成されていないというふうに実際に数字で示されてしまっているわけですから、何かを変えないといけない。
各課、各分野で基本方針が6つある中、主要施策もそれに伴って町のありとあらゆる分野がある。私はこれから先、来年の予算から何かしらチャレンジが

起こるものと信じているが、これは信じて大丈夫なものなのかを改めて問う。
町長 向こう10年間の総合計画を、実行、イメージしているとおりに進捗するような努力は惜しまないつもりでいます。ただ、それが明確に計画に沿ってできるのかと云いますと、これはまだ不確定

でありますけれども、役員と一丸となって全力で取り組んでいくことはお約束をさせていただきたいと思っております。



一般質問



いのちと健康をまもるために



香美町観光振興計画 当初口ゴ

病院は、医師、看護師は足りない、赤字だ、新たなプランをつくれ、と苦勞している。八鹿病院組合は、財源がないから、今年の人



やまもと けんし 議員 山本 賢司

八鹿病院の人勸実施に支援を 病院組合の権限、だが思いは同じ

勸実施は12月補正で予算化できないとしている。このままでは、宝の人材が流出し、病院はますます苦境に陥ってしまう。町立香住病院には、繰入金を増額して人勸実施を行う。八鹿病院組合の構成市町で財源支援を行い、人勸実施を支援することで、病院を守るべきだ。それこ

それが住民のいのちと健康を守る町の使命を果たすことになる。**町長** 人件費の増加と物価高により、公立病院の経営は厳しくなっています。国の対応も良い対策は見えませんが、二市町で構成する公立八鹿病院は、町立香住病院とは性質は違いますが、どちらも大切な



病院です。ただ、人勸実施は組合が自ら決めることです。月一回、病院組合の構成市町長会があり、病院の状況を伺い、意見を求められます。人手不足の中、他の団体に移ってもいいのか、言っています。

人口減少・地域疲弊が進む中、観光業は本町を支える基幹産業である。①「香美町振興計画」に基づき計画的に進行できて



なかむら たかし 議員 中村 崇志

今後の香美町「観光振興」について問う 町民皆様のご提案は、前向きに協力します

いるかについて伺う。②役場は、観光業が香美町経済へ与える波及効果を定量的に把握できているかについて伺う。③観光関係者・観光協会・行政の3者が役割を理解し、観光客のニーズを的確に捉えながら目標設定し観光振興に取り組んでいるかについて伺う。

町長 ①香美町観光振興計画は、観光協会、商工会長で組織された委員会が目標像「日本一を食べに行こう兵庫香美町」としており観光誘客貢献しているものと考えております。②観光入込客数の調査を毎年実施し、エリア・目的別の入込数等、関係者から



収集し県に報告していますが、地域経済の波及効果までは課題があり仕組化できていません。③役割を理解していると思いますが、役割分担や責任所在を不明瞭にしている部分もあります。観光関係の皆様と話し合いを進めて参ります。

町政を問う!

乳がん検診：マンモグラフィ検診とエコー検診の違い

マンモグラフィ
(X線検査)
微細な石灰化を発見
40歳以上に推奨

乳腺エコー
(超音波検査)
乳腺が発達していても確認可能
年齢を問わず受診可能

両方の検診を組み合わせることで、
より精度の高い診断が可能です。

子宮頸がん検診の重要性・検診が必要な理由

日本女性のがん死亡原因の上位
20代から定期検診を推奨
早期発見で高い治療率
HPVワクチンも有効な予防策
定期的な検診により、子宮頸がんの予防・早期発見につながります。
あなたの健康を守るため、定期的に検診を受けましょう。



火災報知器

気になる前に、定期的な検診を受けましょう

子宮頸がんは、20歳から30歳代での発症増加が指摘されており、若年層での早期発見の重要性が高まっている。



わきさか えいさく
脇坂 英作 議員

女性の検診 体調に配慮した日程を求める 女性の体調に配慮した日程設定を検討します

今後、受診しやすい環境づくりや周知の方法の改善など、受診率向上に向けた取組の充実が求められると考える。

以上を踏まえ、日程の設定や周知の方法、受診機会の確保など、受診しやすい環境づくりの観点から、今後どのような改善策を検討しているのかを伺う。

町長 香住区の検診日程については、これまで連日で開催してはいたが、来年度からは、上旬・中旬・下旬というように日程をばらけさせ、女性の体調にも配慮した受診しやすい日程設定となるよう検討していきたいと考えております。

また、香住区以外の村岡

区や小代区で受診が可能なお場合には、そちらの案内も行って、受診機会の確保に努めてまいります。



やまね のりあき
山根 典明 議員

十年以上経った火災報知器諸費用半額補助に 新たな補助制度の創設の予定はしていません

本年11月九州大分での火災・香港タワーマンションの火災で多くの住宅火災と大勢(159名)の尊い命が犠牲となる。

消防法において2006年より新築住宅の警報器の設置基準は義務付け。2011年以降全市町村で設置が義務付け。その後10年以上たった今電池取替費用等を町で補助出来ないか伺う。(和歌山県新宮市で65歳以上・市税完納されている方を対象に5000円を上限で半額補助

助しているが。) **町長** 2011年から全ての住宅の寝室や寝室が有る階の階段室の設置が義務付けられており令和7年6月現在の管内の設置率は83%で多くの家庭が電池寿命を迎えており①機器の設置②点検の周知など引き続き美方広域消防本部と連携して取

新宮市の事例に関しては、香美町もというわけにはいきません。

6年より新築住宅の警報器の設置基準は義務付け。2011年以降全市町村で設置が義務付け。その後10年以上たった今電池取替費用等を町で補助出来ないか伺う。(和歌山県新宮市で65歳以上・市税完納されている方を対象に5000円を上限で半額補助

助しているが。) **町長** 2011年から全ての住宅の寝室や寝室が有る階の階段室の設置が義務付けられており令和7年6月現在の管内の設置率は83%で多くの家庭が電池寿命を迎えており①機器の設置②点検の周知など引き続き美方広域消防本部と連携して取

り組みます。既に自己負担で本体の交換や電池交換をされている家庭があり公平性の観点から「補助制度の創設」は予定しておりません。



一般質問



具体的な離職対策を



各集会所の維持

近年、早期退職や病気休暇の取得が一定数見られる状況にある。離職は個々の判断であるとしても、業務量の偏りや人員体制な



いとう あつき 議員
伊藤 敦紀

職場の在り方は離職に影響しているのか

ど、職場の在り方が影響している可能性は否定できないと考える。職場の在り方が離職の背景にあるとの指摘について、町長はどう考えるか。

町長 離職は、家庭環境やキャリア観など、個々の事情による判断が大きいと考えています。職場環境が全く影響していない

町長 職員がやりがいを持って働ける職場づくりが重要であり、そのことが結果として離職率の低減につながると考えています。人材育成や職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場を目指していきます。離職の背景にある要因の把握は優先事項として考えていません。



多くの集落で集会所等の修繕工事及び建て替えの必要となる時期となっている。今の制度では、小



もりうら しげる 議員
森浦 繁

担が重くて、大変だということを知っている。集会所は多くの集落で避難所として利用されている。防災対策として、集会所の維持のために補助金制度の抜本改善が必要でないかと考えるが、町長の考えを伺う。

町長 集会所の整備は新築改築の場合と改修の場合、地元集落が事業主体となり、事業費の2分の1を町が補助します。戸数の少ない集落の場合、ご負担も大変になると考えます。各自治会で集会所に対する将来計画を検討いただき、必要となる資金の積立等、将来の負担に対応して頂きますようお願いいたします。

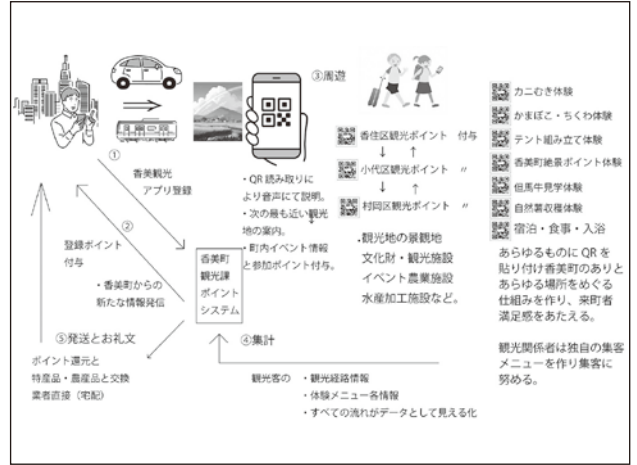
集会所等の修繕工事及び建て替え補助金は集会所整備に関する制度変更は考えていません



町政を問う!



あらゆる物価が高くなって困ります



携帯1台で観光がすべて完結

あらゆる商品の物価高が長期化している。10月の消費者物価指数は前年比0.4上昇、プラス上昇は50カ月連続。物価高は



たにくち しんじ 谷口 眞治 議員

ら町民のくらしを守る物価対策は急務である。しかし、今補正予算(第5号)に物価対策予算なし。国の物価高対策は一時しのぎの対策ばかり。物価高対策として効果が高い、国民が強く望む消費税減税は国がやる気なし。6月議会と9月議会に続き、今議会でも

り1万円分の商品券配布を国の重点支援地方交付金を活用して、急いで実施するべきではないか。

を盛り込んだ令和7年度補正予算を本定例会の追加議案として提案させていただきます。また、国の物価高騰対策に基づく児童手当支給対象児童を養育する保護者に対して児童1人当たり2万円の物価高応援手当を支給する予算も追加議案に盛り込んでいます。

急いで商品券配布の実施を! 1人2万円分の商品券を配布します



求める。観光ポイント制度 観光DXの推進を強く



にしやし ひさし 西谷 尚 議員

将来の観光振興には観光アプリ等のデジタル施策が不可欠である。観光DXの推進を強く

町長 観光アプリなどデジタルツールの活用は、情報発信の強化に加え、データ分析やキャッシュレス対応、人手不足対策などの面で有効であり、今後ますます重要になるとの認識です。一方で、導入にはシステム構築費や管理・運営主体の整理が課題であり、費用対効果の検証が

現時点で具体的な導入予定はないですが、近隣自治体の事例も参考にしながら、担当課で研究・検討を進めていく考えです。

観光に新たなデジタルポイントシステム導入は検討中です



を活用し、観光地巡りや体験、消費行動に応じてポイントを付与することで、町内回遊性や滞在時間の延長、再訪促進につながると提案した。導入コストや運営体制の課題を認識しつつも、研究にとどまっている。早期に第一歩を踏み出すべきである。

委員会視察 研修報告

地域防災拠点を住民の 防災意識啓発施設に

総務民生常任委員会 委員長 山本 賢司

委員会は、近々完成予定の町地域防災拠点の、今後のあり方、活用方法等について知見を得ることを目的に、鳥取県倉吉市防災センターで視察研修を行いました。



町地域防災拠点

町の施設は、救援・救護・復旧の拠点として整備されていることから、住民との関わりについて留意しました。



倉吉市防災センター

県が備蓄するもの	市町村が備蓄するもの
<ul style="list-style-type: none"> 仮設トイレ (トイレカー含む) ストーブ 発電機 大型資機材 ガソリン携行缶 	<ul style="list-style-type: none"> 保存食、水など ウエットティッシュ 歯磨きシート ブルーシート ブルーシート張りセット (UV土嚢、テープ、ロープ) 給水パック トイレトーパー タオル 等
	<ul style="list-style-type: none"> 簡易トイレ 粉乳、ミルク ポリタンク 哺乳瓶 生理用品 紙おむつ 救急セット ロープ

県・市町村備蓄一覧

○**県・市町の連携備蓄**
県と市町村が連携、分担して備蓄(別項)している。市町村は人口比で数量を決めている、とのことでした。平成26年度にセンターは完成してお

り、平成28年10月の鳥取中部地震の時、ブルーシートの支援は役立ったが、止める資材が足りずこの時からセットにしよ、と改善された、とのことでした。



展示コーナー

○**災害への備え展示**
家庭での非常持ち出し品、備蓄物資の展示コー

ナーが設けられており、非常食など現場で学べるなど、住民、特に子どもたちの研修が行われている、とのことでした。

○市独自にアプリ配信

災害時の情報伝達としては、本町と同様の防災行政無線設備が整備され、各家庭、外部スピーカーで知らせる。もう一つの手段として市独自もアプリ配信を開発し、市外にいても情報が得られる。とのことでした。このアプリ配信は、区、集落等での利用も可能であり、現在、利用拡大中とのことでした。



開発されたアプリケーション

センターでは、2名の防災士資格を有する防災普及指導員を置いて、研修、啓発活動を行っており、地区防災リーダーの養成を行い、防災士資格

の取得費用は全額市負担としている、とのことでした。

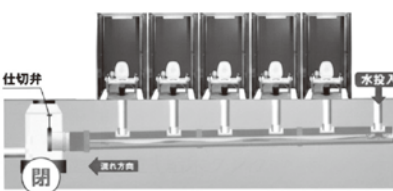


防災普及指導員による説明

○トイレ問題の切り札 マンホールトイレ

指定避難所の既存マンホールを活用し、迅速にトイレ機能を確保することができ、下水道直結のため衛生的で、汲み取

マンホールトイレシステム



マンホールトイレシステム



倉吉市防災センターにて

◎提言

住民活用を

香美町にも地域防災拠点が整備されました。平時時機能として、子ども、住民などの研修、啓発、体験学習などの施設は必要ではないか、情報伝達は、音声だけでなく、文字等による方法も必要ではないかと考えます。

りの手間が少ない、平時から実物を展示し、住民の理解を促進、廃校活用など避難所機能維持に有効な選択肢、とされてきました。

委員会視察 研修報告

官民連携による廃校等の 活用スキームを学ぶ

産業建設文教常任委員会 委員長 松岡 大悟

廃校（公共遊休不動産）の利活用は香美町でも喫緊の課題であり、先事例に足運び、官民連携スキームや民間プレイヤーの属性、また町外事業者との関わりを調査研究するため、鳥取県八頭町準Lab.と岡山県瀬戸内市牛窓テレモークを視察研修しました。

○準Lab.：持続可能な
未来の田舎をつくる
新たな拠点

〈経過〉

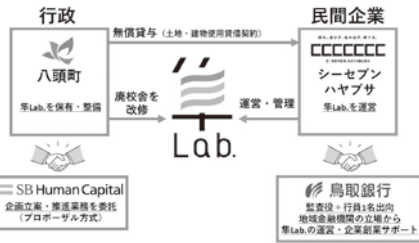
2015年

- ・八頭イノベーション
レーを創設
- ・八頭町とSB（ソフトバ
ンク）ヒューマンキャピ
タル（株）と業務提携（企
画立案及び推進業務）

2016年

- ・まちづくり事業会社設
立準備委員会
- 2017年
- ・（株）シーセブンハヤブサ
設立

・12月準Lab.オープン
※計画準備段階から「つ
くる人」と「つかう人」
を分離させないため、
行政・民間・住民の意



見を集約させた。

〈運営スキーム〉

- ・八頭町（土地建物を保
有、整備）校舎を改修し、
運営事業者に無償貸与
している。

・（株）シーセブンハヤブサ
（運営事業者）計画段
階から参画した7社の
民間会社が出資して設
立監査役として鳥取銀



行から行員を出向して
運営や起業創業サポー
トも行ってはいる。町か
らの出資はなく、独立
採算型で運営している。

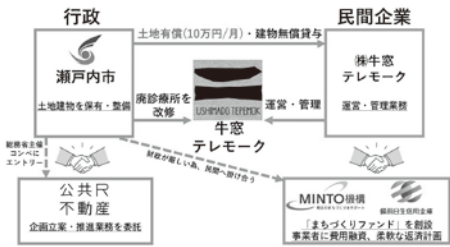
〈運営状況〉

- ・約40企業が入居（シエ
アオフィス、コワーキ
ング会員含め）
- ・就業者数1日約50人
- ・来場者数年間約6.6万人
- ・起業創業数 17件
- ※1階カフェデザインング
SANが人気レストラ
ンで町内外や観光客も
集客している。

○牛窓テレモーク
「文芸的で公共的な
交流の拠点」

〈経過〉

2017年



- ・市場型サウンディング
調査を実施
- ・施設改修工事
- 2017年〜2018年
- ・民間事業者募集に向け、
公共R不動産と業務提
携（企画立案やオープ
ンまでのイベント企画
等）
- ・民間参入条件等のニー
ズ把握、事業コンサル
ト、募集要項策定
- 2018年
- ・公募型プロポーザル
- 2019年
- ・（株）牛窓テレモークを運
営事業者に選定
- ※利活用について様々な
意見がだが、共通し
ていたのはゆっくり時
間をかけること。

〈運営スキーム〉

- ・瀬戸内市（土地建物を
保有、整備）土地は有償
建物は無償で運営事業
者に貸与している。
- ・（株）牛窓テレモーク（運
営事業者）運営事業費
はまちづくりファンド
からの融資で調達。
- ※財政の厳しい瀬戸内市
は、民間都市開発機構
（MINTO機構）と
備前日生信用金庫に掛
け合いまちづくりファ
ンドを創設。

〈運営状況〉

- ・1階にカフェ・ケーキ
屋・自然食品店・レス
トラン
- ・2階に撮影スタジオ・
建築士事務所・美容院・
アートギャラリー・自
習室
- ・別館に音楽、映像スタ
ジオ
- ※ライブ・映画上映・マ
ルシェ等イベントを開
催お祭りなど地域活動
の場面でも利用されて
いる。

◎考察と提言

- ・官民連携に必要な役
割は、行政＋民間運営
事業者＋外部サポー
ト事業者＋金融機関
・地元民間プレイヤー
と行政がつながるに
はタイミングが必要。
外部サポーター事業者
の選定も重要なポイ
ント。
- ・金融機関と連携し、
民間をサポートする
ことも可能。
- ・先進事例から学ぶこ
とも多いが、時には
前例のない新しい形
を見出して覚悟を決
めてチャレンジする
ことも重要。



牛窓テレモークにて

この人ここにあり

「日本で最も美しい村連合」に加盟する
香美町小代協議会

会長 中村 美和子 さん
なかむら みわこ

今回は、「日本で最も美しい村連合小代」に加盟する香美町小代協議会会長に就任した中村美和子さんにお話を伺いました。



中村美和子さん

～ことは？～

小代区では、人口も減りお店や子どもの数も減っています。空き家も増加しました。

このままの状況が続くと、あと10年後の小代の姿を思い描くことが難しくなるのではないかと感じています。

◆本業は？
デザイナーです。

◆会長になつての抱負は？

美しい景観だけでなく、人々の暮らしと地域活動などが評価された魅力はそこで暮らしている人々にあると思ひ、小代の良さを広く発信したいと考えています。

◆活動する中で感じてい



未来カフェのパンフレット

次世代へ地域を引き継いでいくためにも少し



未来カフェの様子

も動ける今のうちに行動し、一人ひとりが「自分にも何かができる」意識を持ってもらえたらと思っています。

◆日本で最も美しい村連合の5年に一度の現地審査は？

10月に小代の現状を審査委員に見てもらい、地域の住民が楽しく生き生きと生活しているという暮らしぶりもアピールしました。
本年度末までに結果が判明しますが、美しい小代の魅力がさらに輝くよう願っています。

◆実際の活動は、今後はどのように進めていきた

いですか？

「未来カフェ」と題し世代ごとに未来を語ってもらう場をつくり、その中で参加者の根底には「小代が好き」という思いを感じました。それを受け止めながら情報発信して、少しでも小代に興味を持ってもらえたらと考えています。

あと空き家の利活用を進め、移住者を増やしたいです。

住む場所の提供がスムーズだと移住のハードルが下がります。行政任せにせず、将来的には、自分も関わる事ができればと思います。

また、今後の活動を進めていくためには、志を同じくする仲間が存在が



現地審査の様子



未来カフェ集合写真

欠かせません。美しい小代の魅力を応援してくださる方々とともに、楽しみながら地域を活性化していきたいと考えています。

美しい村香美町小代のホームページやインスタグラムなどで活動を発信していますので、ぜひ会員として応援していただきましたら幸いです。

◆香美町議会に一言

小代の暮らしや風景を次の世代へつないでいくために、議員の皆さまとも対話を重ねながら、一歩ずつ前に進んでいきたいと考えています。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

◆編集後記◆

人口減少の進行、物価高や人手不足、国際情勢の不安定化など、日本社会は今かつてない「変化の時代」に直面しています。国が示す政策や制度も、全国一律ではなく、地域の実情に即した判断と選択がこれまで以上に求められています。

こうした変化の時代において、町政や議会が町民の皆さんから遠い存在であってはなりません。議会で何が議論され、行政がどのような判断をしているのかをわかりやすく伝え、町民一人ひとりが町政を身近に感じられる環境を整えることが重要だと考えています。

香美町の将来は、町民、香美町の将来は、町民、行政、議会が同じ情報を共有し、対話を重ねる中で形づくられていくものです。議会だよりを通じ、町政への関心と参加につなげられるよう、これからも力を尽くしてまいります。

広報公聴常任委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 長山根 典明 |
| 副委員長 | 伊藤 敦紀 |
| 委員 | 村田 行信 |
| | 中村 崇志 |
| | 脇坂 英作 |
| | 東垣 典雄 |
| | 藤井 昌彦 |

村田 行信